

■調整要領

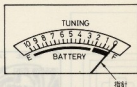
●インジケータ調整

A. セットの状態

1. BAND.....MW(無信号状態)
2. VOLUME.....MIN(最小)
3. 電源電圧.....DC 9V

B. 調整要領

- 半固定抵抗 R_{20} 10K Ω (B)のビスを回し、メータの指針が第38図に示す位置になるように調整する。



(第38図)

高周波回路や中間周波回路の部品故障取換えにより、再調整を必要とする場合は下記要領で行なってください。

●セットの状態

1. POWER.....ON
2. VOLUME.....MAX
3. BASS & TREBLE.....MAX
4. BAND.....FM, MW, SW₁, SW₂, SW₃
5. SW CAL.....0
6. MW/SW RF GAIN.....MAX(DX位置)
7. FM AFC/BAND WIDTH.....WIDE(FM時AFC OFF)
8. LIGHT.....OFF
9. BFO.....OFF(BFO時ON)
10. PITCH.....中央
11. DIGITAL DISPLAY.....OFF

●AM(MW & SW)調整

●AM(MW & SW 2nd)中間周波回路調整

順 序	バンド	シグナルジェネレータ		受信機の ダイヤル位置	調整箇所 (出力が最大になるように調整する)
		接続箇所	周波数		
1	MW	ループアンテナにより輻射	450kHz	妨害を受けない位置	①NARROW/WIDEスイッチをNARROWにする ②T ₁ , T ₂ , T ₃ の極にコアを回して出力が最大になるように調整する。 ③NARROW/WIDEスイッチをWIDEに切替えて、IF波形のセンターズレ及び大きなゲイン差がないことを確認する。

●MW高周波回路調整

順 序	バンド	シグナルジェネレータ		受信機の ダイヤル位置	調整箇所 (出力が最大になるように調整する)
		接続箇所	周波数		
2	MW	ループアンテナにより輻射	500kHz	第39図	L ₁ (MW発振コイル)の調整コア及びL ₂ (MWアンテナコイル)のボビン位置
3			1500kHz	第40図	C ₁₀₅ (MW発振トリマー)の調整ビス及びC ₂₀₂ (MWアンテナトリマー)の調整ビス

(注) 振動に耐えられないように調整後は必ずコア・アンテナ位置をワックスで固定してください。

●SW 1st 中間周波回路 & SW 2nd 発振回路調整 (NARROW-WIDEスイッチ.....NARROW)

順 序	バンド	シグナルジェネレータ		受信機の ダイヤル位置	調整箇所 (出力が最大になるように調整する)
		接続箇所	周波数		
4	SW1	12PFを通してセットの ①②.....③割 ④.....⑤割を接続。	2MHz	妨害を受けない位置	L ₁ (SW 2nd 発振コイル)の調整コア T ₁ , T ₂ の極に出力が最大になるように繰り返し調整する。

●SW高周波回路調整

順 序	バンド	シグナルジェネレータ		受信機の ダイヤル位置	調整箇所 (出力が最大になるように調整する)
		接続箇所	周波数		
5	SW1	12PFを通してセットの ①②.....③割 ④.....⑤割を接続。	3.5MHz	第41図	L ₁₀₅ (SW1発振コイル)の調整コア及びL ₁₀₂ (SW1アンテナコイル)の調整コア
6			8MHz	第42図	C ₁₀₅ (SW1発振トリマー)の調整ビス及びC ₁₀₂ (SW1アンテナトリマー)の調整ビス
7			⑤、⑥を繰り返し調整して両方とも完全にする。		
8	SW2	+	8MHz	第43図	L ₁₁₅ (SW2発振コイル)の調整コア及びL ₁₁₂ (SW2アンテナコイル)の調整コア
9			16MHz	第42図	C ₁₀₅ (SW2発振トリマー)の調整ビス及びC ₁₀₂ (SW2アンテナトリマー)の調整ビス
10	SW3	+	16MHz	第43図	L ₁₁₅ (SW3発振コイル)の調整コア及びL ₁₁₂ (SW3アンテナコイル)の調整コア
11			30MHz	第44図	C ₁₀₅ (SW3発振トリマー)の調整ビス及びC ₁₀₂ (SW3アンテナトリマー)の調整ビス
12			⑤、⑥を繰り返し調整して両方とも完全にする。		